

# 会議録

|                           |   |
|---------------------------|---|
| 会議の名称                     | 令和7年度第8回川越市上下水道事業経営審議会  |
| 開催日時                      | 令和8年2月6日(金) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時40分 閉会   |
| 開催場所                      | 川越市中央公民館 軽体育室   |
| 議長(会長)<br>氏名<br>*敬称略      | 議長:青木 亮(会長)   |
| 出席者(委員)<br>氏名(人数)<br>*敬称略 | 青木亮(会長)、佐野勝正(副会長)<br>江田崇、中野敏浩、片野広隆、桐野忠、小ノ澤哲也、吉野郁恵、<br>宮岡寛、山口陽子、野口典孝、横山三枝子、村上直 の各委員(13名)   |
| 欠席者(委員)<br>氏名(人数)<br>*敬称略 | 柿田有一、山崎宏史、新井康夫、菅間和範、佐久間佳枝 の各委員(5名)  |
| 事務局職員<br>氏名(職名)           | 内田真(上下水道局長)<br>【財務課】<br>馬橋洋(課長)、内田拓亨(副課長)、佐藤和明(副主幹)、浅野蒼太(主事)<br>【給水サービス課】<br>堀尚吾(参事兼課長)<br>【事業計画課】<br>小林武(副局長兼課長)<br>【水道課】<br>新井賢一(参事兼課長)<br>【下水道課】<br>西村雅喜(課長)<br>【上下水道管理センター】<br>石戸祐仁(所長)<br>【総務企画課】<br>矢野雄一(副局長兼課長)、嶋村典子(副課長)、高田英明(副主幹)、<br>佐々木亮(主査)、小澤裕樹(主任)、金井拓実(主事) |
| 傍聴人(人数)                   | 1名  |
| 会議次第                      | 別紙のとおり  |

|      |  |
|------|--|
| 配付資料 | <p>(事前配付資料)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○川越市上下水道事業経営戦略（R 2 経営戦略） 令和 6 年度取組状況報告書</li><li>○同経営戦略 令和 6 年度取組状況報告書のポイント</li></ul> <p>(当日配布資料)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○下水道台帳インターネット公開 周知チラシ</li></ul> |
|------|--|

| 議事の経過 |  |
|-------|--|
| 発言者   | 議題 ・ 発言内容 ・ 決定事項   |
|       | <p><b>1 開 会</b><br/> <b>【傍聴希望者の確認】</b><br/> 事務局より資料の確認、傍聴希望者1名の報告がなされた。</p> <p><b>2 議 題</b><br/> (1) 報告事項 ①川越市上下水道事業経営戦略の振り返りについて</p>  |
| 事務局   | (1) 報告事項 ①の「川越市上下水道事業経営戦略の振り返り」について、資料に基づき説明   |
| 会 長   | ただいま事務局から説明がありました内容について、ご意見ご質問等がありましたらお願いします。  |
| 委 員   | <p>資料「令和6年度取組状況報告書のポイント」の1ページの(2)に記載されている水道事業における建設改良費の減というのは、要するに「やるべき仕事をしなかったから減った」という理解でよろしいのでしょうか。一方で、3ページの(2)に記載されている下水道事業における建設改良費の増というのは、「計画どおりの工事を行ったけれども工事費用が想定より増えてしまった」ということでしょうか。</p> <p>また、建設工事の案内に土・日・祝日は工事をしないと書いてあるのをよく見かけますが、特に土曜日などはなぜ工事をしないのですか。建設企業の中には日雇いの方もいて、悪天候の日は働けず、土曜日でも働きたくても働けないとなると、工事費はさらに上がってしまうのではないのでしょうか。</p> |
| 事務局   | 土・日・祝日の工事につきましては、国が建設業者の働き方改革の観点から公共工事の週休2日制を推進しており、市もそれに倣って進めているところです。  |
| 事務局   | 業者の方からも、「土・日・祝日も働きたい」というお話は特段出ておりません。  |
| 委 員   | 業者の幹部や営業担当に聞いても、現場の方が働きたくて困っているのかどうかはわからないと思います。下請けの小さい企業等は働ける時間を延ばしてもらいたいと言っているのです、市長にぜひその旨を伝えてください。  |

|     |  |
|-----|--|
| 会 長 | 建設改良費の乖離については事務局から何か説明はありますか。  |
| 事務局 | 浄水場の改良に係る費用が計画値よりも減少したと記載してありますが、これは浄水場の耐震性について実態調査を行った結果、当初の想定よりも耐震性が満たされている状況が確認されたため耐震工事を行わずに済んだことから、計画値よりも減少したものです。  |
| 副会長 | <p>この書き方では、計画どおり進んでいなくても工事の価格が上がれば計画が達成されたように見えてしまうので、内容まで踏み込んで、具体的に計画どおり進んだかどうかと、価格の増減の影響を併せて分析しなければいけないのではないのでしょうか。</p> <p>また、「令和6年度取組状況報告書」の10ページ、17ページにある経営比較分析表レーダーチャートのピンク色の図形は、自治体における理想の値ということではなく、それぞれが問題を抱えている類似団体の数値の平均ですので、各指標において、「川越市はこの平均より上だからよくやっている」と言えるものではありません。自治体における理想値の算出が困難なのであれば、誤解を招かないようしっかり説明をする必要があるのではないのでしょうか。</p> |
| 事務局 | 貴重なご意見として受け止め、次年度以降、数字の示し方について検討してまいります。   |
| 会 長 | <p>今後、物価が更に上がっていくことが想定されますので、次年度以降は工夫していただければと思います。</p> <p>他はいかがでしょうか。</p>   |
| 委 員 | 「令和6年度取組状況報告書」の3ページで、管路更新率がこれまでで一番低いC評価となっていますが、その要因を教えてください。  |
| 事務局 | 管路更新率につきましては、令和5年度から2年連続で目標値を下回っておりますが、これは、物価や人件費の高騰により工事の単価が上昇し、予定していた工事がすべて発注できなかったことが主な要因になります。今後、太い管の更新となると更に単価も上がることが想定されますので、計画どおりに進めるには収入を確保する必要があります。このことから、R7経営戦略では料金改定の必要性を謳うこととなったものです。   |
| 委 員 | こういった項目についても、副会長からもご指摘があったように、なぜそのような数字になったのかという分析も含めて評価した方が良いと思います。   |

|     |   |
|-----|---|
| 委員  | 先ほどの委員さんのご質問に対する回答で、「浄水場の耐震化が必要だと想定していたところ、その必要がなくなった」という話がありましたが、どのくらいの期間にわたって耐震化の対応をしなくて良いものなのでしょうか。  |
| 事務局 | 対象となります新宿浄水場は昭和35年に建てられ、耐用年数が50年とされていましたが、調査の結果、耐震化は必要ないということが確認されました。ただ、ひび割れや劣化が見られた部分がありましたので、そこについては修繕を行い、延命措置を講じました。これによってどれだけ寿命が延びるか一概には申し上げられませんが、当面の間は定期的に調査を行い、状態監視を続けていきたいと考えています。 |
| 委員  | そうしますと、これにより金額が浮いた分も、のちのち耐震化工事を行うことになり、必要となってくるということですか。  |
| 事務局 | 新宿浄水場の耐震化工事は令和6年度をもって完了したところですが、今後、伊佐沼浄水場で同じような調査を行うため、そちらの方で別途費用が掛かる可能性があります。  |
| 会長  | 新宿浄水場が昭和35年に建設されたということは、既に耐用年数とされる50年を超えていると思いますが、上下水道局ではどのように扱っているのでしょうか。  |
| 事務局 | 減価償却費という形で建物という資産を毎年度費用化して償却していますが、耐用年数を経過した場合でも残存価格が5%残るものとされていますので、すでに減価償却は終わっていますが、帳簿価格として5%分の価格が貸借対照表に計上されている状況です。  |
| 会長  | そうすると耐用年数の50年というのは、物理的な話ではなく帳簿上の話ということですね。わかりました。   |
| 副会長 | 管路の更新などを行う際に、その5%の部分というのは適正に除却されているのでしょうか。  |
| 事務局 | 実際に管を処分した際には、管の簿価から5%部分を落としています。  |
| 副会長 | 有収率についてですが、ずっと数字が改善されていないとなると、根本的な発想を変えていかないとなかなか難しいのではないかと思います。具体的にどのようなアイデアを持っているのでしょうか。  |

|     |   |
|-----|---|
| 事務局 | <p>まず、水道の有収率につきましては95%近い数字であり、高い水準を維持できていると考えています。これは、漏水調査を計画的に行い、早期に修繕していることの成果だと思っておりますので、引き続き進めていきたいと考えています。</p> <p>また、下水道の有収率については、昨年度約71%とかなり下落していて、これは多量の不明水が侵入しているということを意味しています。昨年度はかなりの降雨量で、特に地盤の低い地域では地下水位が上昇することで水圧が上昇し、管の接続部や亀裂部分への侵入水が増加したことが要因として挙げられます。一方で、今年度は雨が少ないことから、不明水は減少し、有収率は上がるだろうと考えております。</p> <p>不明水への対策としましては、有収率の低い地区を抽出して重点的にカメラ調査等を実施し、その結果を見ながら部分修繕等を進めていますが、降雨量が増えると効果が薄れてしまうという問題を抱えており、どうやって高い有収率を維持できるか日々研究しているところです。</p> |
| 委員  | <p>資料「令和6年度取組状況報告書のポイント」の3ページに「営業外収益の乖離」とありますが、具体的にどういったものでしょうか。また、前もってわかりそうな内容にも思えますが、事前にはわからなかったのでしょうか。</p>   |
| 事務局 | <p>まず、説明文にあります他会計負担金についてですが、汚水に関し、一部を一般会計で負担しているものがありまして、その一般会計からの負担金を収益として計上しているものです。また、長期前受金戻入については、建物を作ったときにかかった費用を耐用年数に応じて毎年減価償却費として費用化しますが、補助金等が財源の一部となっているものについては、その補助金等の額の分だけ毎年収益化していくというものになります。どちらも、計画時は最大値で見っていますが、決算時にはどうしても乖離が発生してしまうものになります。</p> <p>なお、支出や補助金等が減ることによって減少するものとなりますので、財政の悪化に直結するものではありません。</p>  |
| 委員  | <p>ありがとうございます。</p> <p>もう一つ聞きたいのが、「令和6年度取組状況報告書」の8ページから9ページの収支状況を見ると、営業費用について2億3千5百万円のマイナスが出ています。営業費用というと計画値からあまり変化がないもののように思いますが、いかがでしょうか。</p>  |
| 事務局 | <p>おっしゃるとおり、営業費用の内容は経常的に使うようなものとなりますが、委託費や修繕費などにつきましては、当初の想定よりも価格が下が</p>  |

|     |   |
|-----|---|
|     | <p>った場合には執行残が発生してしまうことになります。</p>  |
| 会 長 | <p>先程の営業外収益の乖離についてのお話は、予定していた補助金が入らなかったことによるものという理解でよろしいでしょうか。</p>  |
| 事務局 | <p>おっしゃるとおりですが、建物自体が建たずに補助金がもらえなかった場合と、もらえる補助金自体が減ってしまった場合と両方あります。</p>  |
| 委 員 | <p>建設改良費の乖離についてですが、下水道事業については計画値を6億1千万円上回ったとありますが、足りなかった分はどのように補ったのでしょうか。</p> <p>一方で、水道事業では2億5千万円減少したとありますが、こういった場合はその差額を使って、次年度以降に計画していた工事を前倒しして行うことはできないのでしょうか。</p>   |
| 事務局 | <p>令和6年度取組状況報告書でお示ししている計画値は、R2経営戦略における投資・財政計画上の数字になります。実際の予算は令和6年度予算として収支均衡を図りながら編成していますので、計画値と多少ずれている部分があります。そのため、目標値との乖離があったとしても実際にお金が余ったり足りなかったりということはありません。</p>   |
| 委 員 | <p>状況は理解しましたが、6億円の乖離は大きすぎるので、よく精査してください。</p> <p>また、先程の建設業者の労働時間の件についてですが、建設業者は公共工事が出来ない日にどうしているのか聞いたところ、民間の仕事をやっているとのことでした。市に「建設業者の労働環境を改善する」という認識が欠けていると思います。</p>  |
| 会 長 | <p>他はいかがですか。</p>  |
| 委 員 | <p>(意見なし)</p>   |
| 会 長 | <p>よろしいでしょうか。</p> <p>最初に事務局からも説明がありましたが、令和7年度から新しい経営戦略となっているので、来年度からはそちらをもとにフォローアップを行うことになるということを認識しておいていただければと思います。また、事務局の方は、今回の各委員の皆様からのご意見をもとに、評価基準や書き方などを検討していただければと思います。</p> <p>それでは、議題の「(2) その他」に移りたいと思います。</p> |

## 2 議 題

### (2) その他

事務局

本日も慎重なご審議をいただきまして、ありがとうございました。  
本日をもって、今年度に予定しております議題が全て終了となります。  
また、委員の皆様は令和8年7月12日まででございますが、本日が今任期中における最後の審議会となる予定でございます。来年度は委員の改選の年となりますが、引き続きよろしくお願い申し上げます。  
ここで、1点事務局からご報告がございます。

事務局

本日追加でお配りしました「下水道台帳を川越市公式ホームページから確認できるようになりました」と題したチラシについてですが、下水道分野におけるDXの推進ということで、2月から下水道台帳をホームページ上で公開いたしました。下水道台帳とは、下水道管やマンホール等の位置等を記載した図面でございます。スマホやタブレットからも閲覧できますので、是非一度ご自宅の周辺の下水道管の状況をご覧いただければと思います。

会 長

ご興味のある方は是非ご確認いただければと思います。  
さて、事務局から今回が任期中の最後の審議会というお話がありました  
が、よほど大きいことがない限りは任期中には活動予定がございませんので、委員の皆様から任期を振り返って一言ずつ頂戴できればと思います。

委 員

(出席委員の皆様から振り返りのご挨拶)

会 長

ありがとうございました。  
以上で本日の議題は終了となりますので、議長の職を解かせていただきまして、後は事務局の方をお願いしたいと思います。

事務局

それでは、任期中最後の審議会となりますので、上下水道事業管理者の野口よりご挨拶を申し上げます。

管理者

(上下水道事業管理者から挨拶)

事務局

それでは、以上をもちまして令和7年度第8回川越市上下水道事業経営審議会を終了させていただきます。

3 閉 会

以 上